

2015.9.4 日本ロボット学会学術講演会 オープンフォーラム

読んでおもしろい学会誌・論文誌
学会誌読者からの提案と通る論文の書き方

現在までと今後への期待

2015年9月4日(金)

一般社団法人

日本ロボット学会学会誌和文論文査読小委員会

委員長:川村貞夫



和文誌の課題

- ・投稿数が減少
グローバル化により国際誌志向
- ・企業会員数が減少
産業界から興味ある内容かの検証必要
- ・掲載費用が学会財政に重要
AR無料 他の国際誌も無料
- ・論文内容に偏り
教育, システム化, 実証等が評価困難

2011年度から
理事会で
議論開始

2013年度で
一定の結論

1. 新しい分野の創設

従来分野

- ・要素
解析的内容

新分野

- ・システム設計・構築 システム化の科学と技術
- ・人材育成-社会分野 教育手法 社会との関わり
- ・社会実証実験 フィールド実証 実環境下実証

新しい価値基準で厳正に査読を行う。

2. 新しい分野の意義

(1) システム設計・構築

分析科学ではない設計科学としてのロボティクス推進
産業界視点で有用な情報提供

➡ 企業の会員数増

(2) 人材育成-社会分野

ロボット教育の企画, 立案, 解析等の発表の場
教育界視点での有用な情報提供

➡ 小中高教員, 他分野の会員数増

(3) 社会実証実験

ノウハウ等の実利用に有用な情報の集積
学术界, 産業界, 教育界視点での有用な情報提供

➡ 研究機関, 企業, 教育関係者の会員数増

3. 今後の期待

- ・新分野の論文数の増加に期待
- ・実用的なノウハウ等を含む有益な情報の学会誌
- ・日本語による情報が集積
- ・ロボット産業界の情報が読める学会誌
- ・ロボット教育に有用な学会誌

このための新しい企画が必要

- ・研究以外にも有用な企画 就職 教育 個別技術
- ・各新分野にも論文賞を設立
- ・シニアメンバーは、総合論文等を積極的に投稿
- ・などなど